

公益社団法人 隊友会 横須賀支部だより

- 1 国民と自衛隊とのかけ橋として相互理解を深化
- 2 我が国の平和と安全に寄与
 - ・防衛意識の普及高揚
 - ・国の防衛及び防災施策、慰霊顕彰事業
 - ・地域社会の健全な発展に貢献
- 3 自衛隊退職者等の福祉を増進

巻頭言

支部長 濱田 暢喜



会員及び読者の皆さんこんにちは
山口県阿武町で起きた給付金誤振込事件では、誤振込を受けた住民男性の想定外の対応やネットカジノ、決済代行業者の実態などが話題になりましたね。この事件は担当職員の手続きのミスとともに役場のチェック体制の不備が指摘されています。

一方で、相次いで生じたコロナ禍による持続化給付金の不正受給が、次々と明らかになりました。不正受給額は阿武町のケースの比ではなく、それも水山の一角だと耳にします。この不正を見抜けなかったのは、迅速給付という大義名分を笠に着た関係部局の怠慢だと言えませんか。

また、知床観光船の事故では、沈没した観光船の捜索や水中撮影などに掃海艇が貢献し、上地横須賀市長が「最後に頼りになるのはやはり自衛隊」と述べたように、その能力を大いに発揮できたのは望外のことでしたが、事故を起こした業者のさまざまな運航管理とともに事故現場付

近が海上保安庁の救助の空白海域だったこと、救難機の現場到着が遅かったこと、さらに観光船やその運航状況を検査すべき関係部局の検査が不徹底だったことなども明らかにまりました。

これら一連の事件事故に共通するのは、いずれも監督官公庁等のヒューマンエラーや検査確認の不適切などが主因の背景にあることです。

海上自衛隊では、平成二十年にイージスシステム関連の秘密事項の流出を始め多くの事故事例が連続して起きたことから個々の事案の再発防止のみならず、組織に潜在する根本的な不具合要因を明らかにして體質改善を図るため「抜本的改革」が行われました。その結果は改革の方針と改革の二本柱にまとめられ、それらが浸透するようフォローアップが徹底的に行われました。例えば、任務の増大、多様化による護衛艦部隊の人手不足の顕在化やプロフェッショナルナリズムの希薄化が認められ、漫然と続けられてきた無用なルーチンワークを極力排除し、できないことはできないと勇気をもって言おうという類だったと記憶しています。

先に述べた関係部局等でもおそろしく状況は同じであり、今後様々な改善が施されるでしょうが、喉元をすきて熱くなくなると再びやせ我慢が世の常です。結局、事件事故はいつでも関係者の無知、欲、怠惰、情が引き起こすものであり、これを防止

する最後の砦は感情に左右されない情報技術のサポートだと考えます。ただし、このサポートの実現を阻むものも、お金を別にすれば技術そのものの精度ではなく技術の管理運用に対する不安、疑念という人間の感情です。

当支部でも新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くにつれ、活動が徐々に活発となり内外各部との交流機会が増大してまいりました。それに伴い、いわゆる情報技術を活用して各種情報の迅速な共有や業務の効率化などによって、質の良いサービスをお届けする所存です。皆様にはこれに疑問、不安に思う所があれば直ちにご連絡くださいますようお願いいたします。

IPD22へ！
護衛艦いずも たかなみ
横須賀出港！
令和四年六月十三日(月)令和四年度インド太平洋方面派遣(IPD22)に参加する護衛艦いずも、たかなみに参加する護衛艦いずも、たかなみが横須賀から出港しました。IPD22部隊は、他に護衛艦きりさめ、潜水艦一隻、P-1等航空機三機で構成され、リムパック2022のほか五つの主要な共同訓練等に参加しつつ、米国、豪国を含め計十二か国に寄港し、十月二十八日に帰国します。



陸自AAV7見参！
輸送艦おすみで運ばれてきた陸自水陸両用車AAV7が逸見岩壁に上陸しました。「太平洋水陸両用指揮官シンポジウム」の一環です。



副支部長の独り言

七十歳過ぎたらやめた事、始めた事

副支部長 在原 政雄

七十歳になってやめたことは自動車の運転をすることでした。

十九歳で大型自動車免許、さらに大型牽引自動車免許を取得して、五十一年間運転してきました。三十、六十歳半ばまでは自動車どこに出かけるにも、足代わりに運転して使用してきました

近年高齢者の自動車運転で、ブレーキとアクセルの踏み間違いで、歩道を歩いている人を跳ね、あるいは店に飛び込み、お客などを死傷させるなどの報道を見るのですが、自分に限ってそんなことはあり得ない、気を付けて運転をすれば事故を起こさない、まだまだ運転できるのと思つて運転していました。

しかし、七十歳になり職場の資材を運搬する運転手も、会社の決まりでやめることになったのを契機に、思い切つて運転をやめる決心をしました。当時は家族の反対もあり、色々悩んだのですが、今はそれで良かったと思つています。

さて、七十歳過ぎてからやり始めた事ですが、七十歳過ぎたら慣れないことは安易にやっつてはいけません。周囲の批判もありました。しかし、新たな仕事をしたいという意欲は増し、チャレンジを開始しました。

除草の講習、植木剪定講習(雑木類)八日間、植木剪定講習(クロマツ、みどり摘み)八日間の一年で一つずつ、計三つの講習を受け、やり始めたのです。

どなたが言ったか忘れましたが、子育ては「植木」と同じだと。一本の木を育てるには、土壌、肥料、日光、水等に気を

かつてやらないといけない。愛情もいるし剪定も必要です。土壌が両親としたら、肥料は食事、水は愛情で日光は環境、そして、選定は嫉妬です。水(愛情)をやり過ぎて根腐れします。

今は植木の剪定をやり始めたばかりですが、これもまた、やってみると思つていたより、色々大変です。水と同様、剪定はやらなれないといけないが、やり過ぎるのも問題です。枝の剪定は、切つていい時期があるのです。誉めることと叱ることの使い分けの大切さは子育てと同じです。ただ、植木はモノを言わないから子育てより難しいといえるかもしれません。

難しいことばかりですが、自分自身が健康で動ける間は、やっついていきたいと思つています。

それから趣味愛好会についてですが、二年ぐらい前から日本酒の検定試験をネットをやっているのを見て、若い時から酒が好きだったこともあり、やり始めました。昔から「酒は百薬の長」と言われ、適度の飲酒は疲労感を和らげ、コミュニケーションを円滑にするとされています。(但し、飲み過ぎは最悪で、健康に良くない)

日本酒の歴史、文化、造り方、モラル、マナー、楽しみ方、酒にまつわる雑学等を学ぶうちに、飲酒はただ飲むだけでなく、自分自身の生活や人生を豊かにすることを学びました。

これからもいろんな知識や経験を、上手く人に伝えられるように、また素敵なこともたくさんありますようにと願い、健康第一で年を重ねながら、人に優しくできる人生を歩んで行きたいと思つています。

住宅リフォーム工事なら小工事でもお気軽に

(株)オノシマホーム

TEL046-833-2968

横須賀市森崎1-2-21 エザース北久里浜3階
大工、外壁塗装、水廻り、内装、屋根、外構 他
久里浜通信学校総務部・教導隊OB
鹿児島生、愛知出身、陸上自衛隊生徒23期卒

《かなしん よろず相談承り処》に
ご相談ください。

かなしん よろず相談承り処 は、かながわ信用金庫が
運営する「なんでもご相談窓口」です。
金融商品以外のご相談ももちろんOK!!
ぜひお気軽にご利用ください。

かなしん よろず相談承り処

場 所：横須賀市大塚町2丁目21番地(三宮ビル隣接内)
営業時間：10:00~19:00(12月31日、1月1、2、3日休業)
フリーダイヤル：0120-0468-01 神奈川県内および利用いただけます。(受付時間 10:00~19:00)



かながわ信用金庫
かなしん

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社

防衛省団体扱自動車保険・防衛省団体扱火災保険

- 1 OBの皆さま向けのサービスをご用意しています。見守りサービス、防災アラートサービス、電車を運行不能にさせた場合の損害賠償、家具移動、電球交換サービス
- 2 一般に比べ最大約19%(自動車保険)、約15%(火災保険)の割引です。
- 3 OBの皆さまにご加入いただけます。

弘済企業株式会社

その他、集団扱いがん保険も取り扱いしています。

詳しくは、右記の保険常駐員にご相談下さい。

海自横須賀：山田 046-822-3500(内線2317) 海自船越：柴田 046-861-8281(内線4863)
陸自武山：荒木 046-856-1291(内線571) 陸自久里浜：丸山 046-841-3300(内線328)

大山登山阿夫利神社下社参拝

前日の雨が嘘のような快晴の令和四年四月三十日(土)、職場仲間と大山詣り(※1)に行つてきました。

季節は雨穀の候、前日まで百穀を潤す雨も上がり、晴天に恵まれた。

相鉄線横浜駅改札口七時半待ち合わせ、懐かしいなあー十何年ぶりの相鉄線です。

メンバーも揃い早速、カッコいい新型の黒塗りの列車に乗り込みました。「近年の相鉄は路線を拡張し便利さとスピード化されているなあー」と感じながらのあーという間の三十分で海老名駅に着きました。

小田急線乗換え用通路工事も急ピッチ進められている海老名駅。無事に小田急線乗り換えることができました。

伊勢原駅に着き、コンビニで昼食のおにぎり等を買って込みバス停に向かうと、北口バス停は既に多くの人々(登山者)がバス停に並んでいます。直通バスはすでに満杯、次のバスで行くことにした。時刻は九時少し過ぎたところ先ずは予定通りです。

バスに乗り込み後部座席に陣取り大山へ、伊勢原市街を過ぎると、古い参道を中心とした街並みが残る大山道をバスは窮屈そうに走ります。車窓からは、大山講の宿坊や旅館などが並ぶ情緒あふれる参道が目飛び込んでくる。海老原の駅から三十分程で清々しい新緑、鈴川のせせらぎと鳥たちの囀りに歓迎されながら大山の麓の「大山ケーブル」バス

停に着きました。

トイレを済ませ、旅館、茶屋、土産物屋などの店舗が両側に並ぶ。敷石に独楽(こま)の絵が埋め込まれている。三個独楽の絵があり、三段の石段があった。独楽街道(旧参道)を上り詰めると元滝という美しい滝が紅葉(もみじ)の新緑の青葉の向うにあった。川辺に山吹の花、滝(元滝)を見ながら一息入れた。鈴川に架かる雲井橋の渡るとすぐに大山ケーブルカー追分駅があります。

定員一〇一人のケーブルカーは満員、ゆつくりと上る。窓から新緑の香りと鼻月の風が入り気持ちよい、急勾配の軌道をケーブルカーは上っていく。途中不動前駅があり、「上り」と「下り」がすれ違った。下車し、無明橋を越え森深い静けさと薄暗い森の中に雨降山大山寺※2がありました。関東三十六不動霊場の第一番札所だ。寺の高い格式に比べて狭い境内、人数も少なく「深山幽谷」の気分が味わえると思われれます。静寂なスポットでありました。

再びケーブルカーで昇り、下社駅で降りると大山阿夫利神社※3に到る真新しい白い石段は、春の日差しが降り注ぐ聖域へ厳かな気持ちで一段々上がった。

阿夫利神社に参拝し、新緑時期限定御朱印を頂いて登山の無事をお願い奉り、湧き出る名水を泉からポットに汲み入れて、阿夫利神社(下社)の本殿左手に「頂上登山口」の看板と石畳の参道を進みました。

登拝門(登山口の鳥居)からは登山道です。最初の難関と思われる傾斜の急な石段を見上げ、気合いを「本気モード」にチェンジしました。

木戸(登拝門)を入ると一丁目の石柱表示が見えた。この石段から登山道のスタートとなります。大山の登山道の要所々には、石柱に「〇丁目」表示がされた石柱が建ててありました。

木戸が一丁目、山頂が二十八丁目になっていきますので登山の目安に登りました。初夏の杉林を爽やかな「いい空気」をゼイゼイ息をしながら、時々マスクを外して登りました。九十九折りなす階段状の登山道が続きます。休み、休み、一歩、一歩無理せずに登りました。十六丁目、蓑毛裏参道からの登山道と合流ところにあつたベンチに座り「一休」さん「はい」の一同だった。

この辺からは、見晴らしが少しずつ開けてきました。二十丁目の富士見台からは丹沢山系越しの富士山が望めます。本日は残念、「富士の白雪やノエ雲」の中でした。

ヤビツ峠からの道と合流する二十五丁目まで来ると山頂はもう少しです。鳥居をくぐると、大山阿夫利神社上社の社殿の前に出ました。社殿の裏に大山山頂(山頂を示す石碑あり)があつた長い列にならび、二十八丁目踏破記念の撮影も忘れないように済ませ、所要時間は九十分でありました。

山頂はすでに昼時分、多くの登山者が眼下に広がるパノラマを眺めながらコーヒー沸かす人、山頂茶店で温かいラーメンを啜るカップル、私も甘露な大山名水でのどを潤おし。明太子おにぎり、チヨコレートをほお張り、格別な美味しさでいただくことができました。

山頂広場からの見晴らしは素晴らしい、三百六十度、西に丹沢三つ峠、富士山、

箱根の山々、東から南を見ると新宿高層ビル群、秦野盆地、相模湾に江ノ島が小さく浮かぶ、その先に三浦半島すぐそのように見え、伊豆の大島や伊豆の島々、伊豆半島、箱根山々の眺めは箱庭のようだった。登つた人が頂ける嬉しい褒美と思えました。

下りは、登りに比べ短い六十分で阿夫利神社下社に着きました。

ケーブルカーで追分駅に降りると、大山の天然水に晒した名物の大山豆腐料理に舌鼓、喉越しがいいね。

伽羅ふきの佃煮の土産も忘れなかった。帰路時に、高齢者の登山の誘客※4を考えると課題も多いなあと思つた次第でありましたがそれ以上の楽しい感謝の一日でありました。

※1 大山は、古くから霊山として篤く信仰されてきました。隆盛を極めた江戸時代には年間二十万人の人々が来山したと云われています。

また、大山(標高一、二五二メートル)は、丹沢表尾根の東端にあり、富士山のような三角形の美しい山容から、古くから庶民の山岳信仰(大山信仰)の対象にされてきました。

江戸庶民は信仰集団「大山講」を結成し、お伊勢参りや大山参りと言つた信仰のための旅行が公に認められた。信仰は名目で、行楽のための小旅行としての「大山参り」として人気がありました。

※2 大山寺の開基は、奈良の東大寺を開いた良弁僧正が天平勝宝七年(七五五年)に開山したのが始まりです。行基菩薩の高弟である光増和尚は、開山良弁僧正を継いで、大山二世となり、大山全域を開き、山の中腹に諸堂建立。その後、徳一菩薩の招きにより大山寺第三世として弘法大師が当山に入り、数々の霊所が開かれました。また、源頼朝は太刀を奉納して戦勝祈願し見事成就した。これから「納め太刀」の風習が始まったとされる。江戸時代、春日局が家光(徳川三代将軍)のため当山にも参り、家光が世継になるよう不動明王に祈願し

た。家光は大山寺の造営(寛永の大修理)に着手した。その後大山不動参りは江戸大衆の中に広がり、大山寺の全盛期を迎えたとされております。

※3 大山阿夫利神社(おおよまあふりじんじや)は、伊勢原市大山、別名雨降山(あふりやま)にある神社です。大山山頂に鎮座する本社(奥社・前社を含む)と中腹に鎮座する下社があります。祭神は本社に大山祇大神(オオヤマツミ)、摂社の奥院に大雷神(オオイカツチ)、前社に高お神(タカオカミ)を祀る。ただし、これらは明治になってから神仏習合の際に祀られるようになったものであり、江戸時代以前の神仏習合時代には、本社には本来の祭神である石尊大権現(山頂で靈石が祀られていた)とからこう呼ばれていた。が祀られていました。また、摂社では、奥社に大天狗、前社に小天狗が祀られていました。

創建は、伝・崇神天皇の御代(西暦三世紀ごろ)と伝えられています。阿夫利神社は、古代から人々の心の拠りどころとなり、国を守る山・神の山として崇められてきました。山野の幸を司る水の神・山の神として、また、海上からは羅針盤をつとめる海洋の守り神、更には大漁の神として信仰をあつめるとともに山岳信仰の中心として今日に及んでいます。「富士に登らば大山に登るべし、大山に登らば富士に登るべし」といわれた。大山にのぼると一人前として認められるという伝承があり大山の神霊が(神のみたま、靈妙な徳)神霊を祭る神霊の加護(立身出生の神とされてきた)ことが伺えます。

※4 登山の投稿記事を書いていると、五月十二日の読売新聞記事に次のような記事が掲載されていた。日本遺産に認定されて六年の「大山詣り」の二年はコロナ禍の影響で観光客の足も遠のき、伊勢原市は誘客に力を入れ方針を示したが管理など課題も多く、国などの支援を得て誘客、登山道の整備が進められている。

次は、足柄金時山、そして秋に高尾山の紅葉、地球(GEO)の過去を知る遺産大山(PARKU)の登山に続き年寄りの挑戦が続きます。

竹舟

ぶらり浦賀道散歩(連載二)

崖の上の九覧亭を眺めながら、六浦川に沿って足を進める。この辺は埋め立てられ住宅地に様変わりし、柳町と呼ばれている。その住宅街の向こう側に関東学院大学高いビルが見えている。大学のそばを流れるのが侍従川で、二つの河に囲まれた住宅地が金沢区柳町です。京急電鉄の分譲住宅地であると聞いている。

六浦川プロムナードと別れと国道十六号線に出た。横浜環状四号線の京急線のガードが見える。バス停の名前が「六浦橋」であった。六浦川が十六号線と京急高架線の下から流れなくなり、侍従川沿いに歩くことにした。内川の入江にあつたとされる鎌倉時代の六浦湊の名残りを留める「三艘」という地区を目指した。ここに唐船が三艘も横付けしたという湊があつた事実をこの目で発見したいと探し求めて、侍従川を上った途中「塩場」と言う地名があつた。この辺まで入江になっていて、塩焼く人々が住んでいたのであろう。「三艘」は、京急本線と逗子葉山線の間にあることは分かっていたが「勝手知つたる他人の家」とも言えず、うろろろ散歩に堪えきれず六浦湊の探索を終え、鼻欠け地蔵を目指した。

侍従川は三艘の町を過ぎると環状四号(神奈川県道二二三号原宿六浦線)を右に行ったり左にと蛇行して、六浦町の中心街を流れていた。六浦庄と呼ばれるこの地は、平潟湾六浦の内川へ注ぐ侍従川によつて侵食され、断崖な景勝と谷戸の地形と肥沃な土地に恵まれた六浦庄と云われる由縁であろう。その鎌倉

街道の大道(たいどう)小学校過ぎて間もなく、鼻欠地蔵の魔崖仏があつた。今は風化ため地蔵の顔も姿も判らない史跡で、横浜教育委員会による史跡案内板があり、当時を偲ぶことができた。その案内板の挿絵に「江戸名所図」という観光宣伝史に六浦の鼻欠地蔵を絵図が紹介してあつた。景勝地金沢八景の旅のパンフレットであつたものでしょう。また、案内板には、地蔵を相模国と武蔵国の境界あつたことから「界(さかい)地蔵」と言われたことや鎌倉と金沢を結ぶ六浦道と呼ばれ、中世からの大切な道であつたことや、能見堂から金利谷白山道(鎌倉道)、後の浦賀道の一つあつたのたろう。そのような交通の要所にあつた地蔵は、旅の安全を祈る人々の広く信仰されたと記してあつた。

鎌倉時代に開かれた白山(しらやま)道は、嘉元三年(一二〇五)金沢定頭が瀬戸橋を竣工させるまで、鎌倉と称名寺を結ぶ幹線道路であつたと言われている。

宮川が流れる宮ヶ谷の地に手子神社がある。その東側一帯の地名が小泉(こずみ)という。昔はこの辺まで入江でした。その汀に竹生島と呼ばれる岩山がありました。そこに大きな笠松があり、晴天の夜でも梢から雫を落としていたと云われていた。これが「小泉夜雨」の起源で、金沢八景の一つです。その松の根元の石窟に弁財天が祀られていた。今は、そんな風景は見渡りませんが竹生島弁財天は現在手子神社の境内に移され祀られている。

「かちまくらとまもる雨も袖かけて涙ふる江のむかしをぞ思う」

京極高直(丹後田辺城主)の三男で歌人の京極高門の和歌を載せた金沢八景の浮世絵は江戸庶民のあいだにも知られ、八景旅行熱も大いに高まったと云われている。

浦賀道に通じる交差点であつた六浦は古今賑つていたと思われる感じが残る町でもある。また、鎌倉時代、朝夷奈切通しが開通した仁治二年(一二四一)から六十年後金沢の入り江の瀬戸に橋が架かり称名寺から鎌倉までの幹線道路が完成したと言われている。

六浦湊には、唐船が何艘を着き、唐(中国)との交流が盛んなであつたこともうかがうことができた。三艘の地名が唯一と、六浦湊の存在の名残と思つていたが：然(さ)に非(あら)ず：六浦の大道、朝比奈町などをぶらりと散歩して分かつたことに、それぞれの時代に様々な背景になか、当時の人々の息づかいがわかるような歴史の流れがあるような気がした。

侍従川は、源流から一・三㎞付近の大道橋から河口(平潟湾夕照橋付近)を神奈川県が管理する二級河川に指定されている。横浜市金沢区朝比奈の森を源流としている。また、横浜市と大切な自然を残そうと生態系を取り戻そう地元活動が実を結び、かつてはドブ川だった侍従川に蜚が棲む里の清流が戻ってきたという。河口は人口的な川であるがきれいな流れを取り戻している。朝比奈山々を源流とし、里を流れ、川ガキ(川で泳ぎ川で遊ぶ子)達が川遊びのできる川が蘇えつていた。

和田一族(※6)が北条氏の謀略によつて滅亡するまで、六浦大道には、「和田

の谷戸」の地名が残っている。

※6 和田一族は健保元年(一一二二)世に言う「和田合戦」反乱を起して滅亡するまで六浦の地を和田義盛が支配し、自領の安房と鎌倉を行き来するとき六浦湊を経て朝比奈の山越え道を通っていたと思われる。合戦のとき、和田義盛に殉死した朝比奈三郎義秀などの名が「吾妻鏡」に見え、明治の時代(二十から四十年)に、発刊された朝比奈三郎義秀の単行本が発刊されるなど多くの人に読まれていた。三浦一族については衣笠浦賀道散歩で後述することにする。

六浦湊は鎌倉時代支配する人が変わろうと当時重要な港であったことに間違いない。和田義盛は自領地安房のから物資輸送に使い、また、今から七百年(一一二六九)唐船らか「一切経や青磁の花びん、香炉などを積んだ舟が三艘ついと伝いられる。その唐貿易で執権北条氏は莫大な富を得ていた。六浦湊は鎌倉との道順で一番の場所だったからだ。また、唐から舟で運ばれた象や唐猫の言い伝えも残っている。象は地名にもある。そんな六浦の湊探しの結論としては、現在侍従川に架かる内川橋(国道十六号線)付近を内川という。

内川の浦と対岸の九覧亭のあった平潟湾に飛出た小さな半島や上行寺裏の尾根山系のくびれを通り上行寺の前を通る六浦道が通る浦とは内浦の入り江で対岸していた。その入江に六浦湊があったものと思われる。現在は、京急線の本線、逗子・葉山線や国道(十六号)が通っているが、結構深く、県道二十三号線から京急六浦駅、神武寺、逗子市へ県道近くまで入り込んでいて、塩の製造(塩焼き)等の集落地と考えられる「塩場」という地名もある。六浦湊は、「塩場」の隣の「三艘」にあった。しかも三艘が接岸でき

る湊であったものと考えられる。

国道十六号線に架かる内川橋から関東学園大学校正面を通り夕照橋に向かう侍従川沿いの道がある。二番目に架かる雪見橋の南側付近が内川で、横浜市の「内川暮雪」案内板もその付近にあった。

「内川暮雪」広重の浮世絵には、内川、瀬ヶ崎(室の木)方面の景色から遠く鷹取から神武寺へつづく連山をとりいれ、夕暮れの雪景色で深雪に行き悩んでいる旅人の姿が描かれている。歌人京極高門は、みなとの江の雪の夕暮れを「木陰なく、松にむもれて 暮るゝとも いざしら雪の みなと江のそら」と絵に添えてある。

浦賀道は大道付近の六浦道から分れ、内川の入江沿って塩場、三艘、内川へと通じていたのであろう。

相州浦郷村へ行くのには天神山脈が東西に連なり和田山・室の木に達する険しい山道があった。その東側の突端が瀬ヶ崎で夕照橋の架かる平潟湾にそり立つような崖の尾根があった。今、瀬ヶ崎は海軍横須賀航空基地の埋め立てに崩されてその面影もなく、野島公園になつている。

横須賀と横浜の境がある国道十六号線の傍に傍示堂の石塔群がある。

峠の小道(浦賀道)にあった地蔵、庚申塔は、国道や京急線の拡張整備などで集められ傍示堂に収められたものです。昔からここには武蔵と相模の国境で番所あり、流れ者や、流行病の侵入を厳しく取り締まっていた。当時ならコロナ禍なかなか相模の国へは入れないことだろう。傍示堂の側に、追浜の地区振興懇話

会の案内板があった。

その説明によると昔、「このあたりは天神山脈が東西に連なつて、和田山・室の木に達する険しい山道でした。その尾根道の峠を南北に貫く小道が「浦賀道」でその小道の傍らに古くから五輪塔・地蔵・庚申塔が祀られていた。

特にこの場所は、浦郷村(現在の追浜)六浦荘村(金沢区)の村境である事と又、相模・武蔵の国境でもあります。なので、隣村から悪人や病気が入らないよう、そして自身の長寿を祈つたのが、この石塔群です。…中略

「五輪塔」は鎌倉・室町時代に建てられたものが多く、宇宙の五大要素の空・風・火・水・地を表現しています。正面には「梵字」が彫られています。ここに祀られている「五輪塔」は約六百年前のもので四面に「梵字」が彫られている大変貴重なものです。」という内容であった。

横須賀のそれぞれの村境の路地にある地蔵さんや庚申塔・馬頭観音などは地域の人達により保存され残されている。

昔の村々の人々は、治療など十分に確立してない時代は感染症などの流行り病気から村民を守ることは、ロックダウンと石仏偶像の力をお願いしてパンデミックから身を守った。

さて、次号は浦郷、追浜、田浦と浦賀道を歩き、軍都横須賀の海軍施設、軍事産業などの遺構を巡りたい。少し、大河ドラマ(鎌倉殿の十三人)の影響と登場するその歴史が色濃く金沢で回り道の浦賀道となりました。

次号を楽しみに

竹舟

あんしんを羽ばたく力にー京急グループ

京急メモリアル

もしもの時は、まずご一報を! 24時間受付
安心と信頼を 自信をもってご提供します

久里浜斎場

京急久里浜駅徒歩1分

0120-277-299

(経済産業大臣認可全葬連加盟)

KEIKYU
京急グループ

豊かな暮らしのお手伝い



スーパーマーケット エイビー

ave

株式会社 エイビー

支部ゴルフコンペ結果

第二十八回隊友会横須賀支部ゴルフコンペは、令和四年五月十七日南総ヒルズカントリークラブで行いました。小雨降る生憎のコンディションの中でも熱気あるプレイで、宍戸光明氏の優勝でした。

グロス86.0 H/C21.6
NET64.4

参加者の皆様お疲れさまでした。怪我人及びコロナ感染者もなく無事に実施できたことを感謝いたします。

次回、二十九回大会は令和四年十一月頃の開催を予定しています。「おしらせ」等でご案内致しますので、多数の参加をお待ちしています。

ゴルフ同好会幹事 松浦



事務局だより

(各項目におけるお名前については順不同、敬称略)

☆ 新入会員紹介

次の方が新たに入会されました
(令和四年三月、令和四年六月)

○ 正会員

古庄 信二(陸)、横道 強(海)、
佐藤 良照(海)

☆ 物故者(令和四年四月以降判明分)

次の方々が逝去されたとの報を得ました。心からご冥福をお祈りいたします。

○ 正会員

塚本 武夫(陸)、岩澤 貞義(海)、
中島 達夫(海)、津金 秀臣(海)、
岡 徹(海)、中川 一(海)、
北永 宗徳(陸)、小林 繁雄(海)、
中村 忠明(海)、江口 洋一(海)、
澤 潔海、平塚 武(海)

☆ 令和四年度第一回 理事役会

五月二十一日(土)一〇〇〇〜一三〇の間、ヴェルク横須賀にて開催し、無事に終了いたしました。

☆ 令和四年度定期総会等

五月二十八日(土)一〇〇〇〜一四〇〇の間、横須賀商工会議所にて実施し、無事に終了いたしました。
定期総会の会議冒頭、小泉進次郎特別相談役がご来場、挨拶されましたが、特にサイバーセキュリティにおける横須賀の位置づけ等についてふれておられました。

その後、総会における議案審議、報告等に移行しましたが、審議事項につきましては事務局提案どおり可決されました。定期総会等実施結

果につきましては、この支部だよりに別途掲載しましたのでご確認いただきたいと思っております。

総会終了後は今年度支部長表彰状、感謝状受賞者への賞状贈呈を経て、特別会員からの挨拶等がありました。この時間帯にご挨拶を頂いたのは三浦のぶひろ参議院議員、浅尾慶一郎元衆議院議員です。

この後には弁当食による昼食会が実施され、この時間の後半には少し遅れて到着した特別会員の三原じゅん子参議院議員によるご挨拶があり、一連の定期総会関連行事を終えました。

この度の定期総会等は、長らく続いたコロナ禍も収束の方向が見えてきたため、なんとか対面による会議等を模索した結果、今回の形で実施に踏み切ったものであります。

新年度は事業計画等に基づき、肅々と事業を執行して参ります。引き続きご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

☆ 令和四年度横須賀夏季防衛講座についで

八月二十日(土)一五〇〇から記念艦三笠にて講演会、一六四五から神奈川歯科大学生食堂にて納涼懇親会の予定で準備が進められています。具体的な案内は七月下旬に配布予定です。

なお、今後は夏季防衛講座は横須賀水交会が、横須賀防衛諸団体合同新年賀詞交歓会は隊友会横須賀支部がそれぞれ固定的に主幹事を担当することとなりました。

入門証・マイナンバー他 各種証明写真 (技術者撮影)

本広告見たと言ってください
(通常価格600円を500円にします！)
(市役所前公園近く)

秋山証明写真店

TEL 046-827-4900

NOMURA

野村證券

横須賀支店

〒238-0008 横須賀市大滝町1-9

TEL 046-823-2550

◆ 野村證券を身近なアドバイザーとしてご利用下さい ◆

☆ メールアドレスの登録依頼

既に何度も掲載済みですが、当支部では会員の方々のメールアドレス登録を推進中です。当支部からの各種連絡はメールを使えば迅速かつ安価に実施できますし、受信者としても情報を迅速に受け取り、かつ紙のように紛失することはありません。

しかしながら、メールアドレスの登録者数はまだ二百数十名程度に留まっております。また、事務局からメールをお送りしてもエラーとなる方も少なくありません。

☆ 次の会員の方々の連絡先をご存じの方は事務局まで一報ください。

- 齊藤 定司(海)、神田 晃(陸)、森谷 知次(海)、渡辺 修(海)、萩原 浩(陸)、守田 英基(海)、牧 秀一(海)、河野 賀津寿(海)、丸山 一夫(海)、小山 友幸(海)、永井 利衛(海)、保田 雄二(海)

前述のとおり、最近また住所不明の会員が増加しております。

もし、住居を転居される場合は、ご本人又はご家族の方でも結構です。支部事務局にも一報をお願いいたします。規則には、一定の期間、連絡先が不明の場合は退会となる規定もございます。宜しくお願いいたします。

☆ 支部だよりへの投稿のお願い

隊友会横須賀支部会員の皆様、身の回りのできごとや、他の会員に知っていただきたいこと、俳句、川柳、和歌、随筆、小説、墨書等なんでも結構ですので、メールにて事務局にお送り

ください。

投稿文の長さや提出期限は特に設けませんが、編集作業の関係から、掲載希望の月の、前月の二十日頃までにお送りくだされば幸いです(写真があれば読者会員の興味も沸くかと思えます)。

会員の皆様からの奮ってのご投稿をお待ちしております。

☆ 横須賀支部事務局連絡先

TEL/FAX 046-867-6566
メールアドレス tvs-05@nifty.com

令和4年度定期総会

実施報告(要旨)

- 一、日時、場所、参加者数
令和四年五月二十八日(土)十時～十一時、横須賀商工会議所、四十三名

二、審議事項

いずれも満場一致をもって承認された。議案の概要等は、以下のとおり。

- ① 第一号議案：令和三年度事業報告
前年度同様にコロナ禍であったが主として次を実施。

- ・ 自治体等が行う諸行事に対する協力(防災訓練等参加七回、四十名)
- ・ 部隊に対する協力(入隊式等十二回、十四名)

- ・ 防災訓練等への参加(二回八名)
- ・ 引越合い見積支援(相談会二回、見積申込者：八十六名)

- ② 二号議案：令和三年度決算報告・監査実施報告
収支ともに前年度を下回ったも

の二万七千円余りの黒字

- ・ 収入：前年度から約二十七万円強減、支出：前年度から約三十二万円弱減

- ・ 監査結果(令和四年三月三十日実施)は「適正にして異常なし」

- ③ 第三号議案：令和四年度事業計画(案)・令和四年度予算案
次を重視事項として実施。

- ・ コロナ禍における感染拡大防止に寄与
- ・ 会勢拡大、収支改善に寄与
- ・ 防災情報協力員及び隊友紙手配要員の増員
- ・ メール活用の一層の推進
- ・ 適正な収支を維持(収支ともに約三百九十万円)

- ・ 今年度も寄付を依頼予定(年度後半)

- ④ 第四号議案：令和四年度役員変更(案)
現役員任期は四年度未迄であり、今回は逝去、体調不良等による辞任者の微修正

- 三、報告事項
- ① 会勢
令和四年度末正会員は一千四百九十名(三十六名減)、特別会員六十九名(三名減)

- ② 職位機能組織図改正
役員の変更に伴う微修正

- ③ 防災情報協力員の指定変更
(逝去会員等の微修正)

- ④ 叙勲受章者紹介(令和四年春の叙勲当支部関連分)
瑞宝重光章：杉本 正彦様

(元海上幕僚長) 瑞宝中綬章：高嶋 博視様

(元海自 横須賀地方総監) 以下危険業務従事者 瑞宝双光章：大橋 保伸様

(元海自 横基業) 手島 敏勝様 (元海自 艦発隊) 寺島 浩幸様

(元海自 横教) 平子 清二様 (元海自 横基業) 三上 春光様

(元海自 二術校) 瑞宝単光章：伊富貴 康 様 (元海自 横警) 鈴木 久利 様

(元海自 横衛生) 令和四年度 表彰・感謝状贈呈者 紹介(当支部関連 順不同) 隊友会本部長 表彰：佐々木 俊也 様

(顧問 前支部長) 佐藤 弘 様(理事役) 感謝状：大橋 久江 様(特別会員) 神奈川県隊友会長 表彰：酒井 良文 様

(副支部長 行事支援委員長) 感謝状：野崎 司 様 (特別会員 セントラルホテル 代表取締役) 塩田 好一 様

(特別会員 ジブラルタ生命 横須賀第1営業所長) 横須賀支部長 表彰：古城 裕吉様(正会員) 杉山 文俊様(正会員)

感謝状：田中洋次郎様

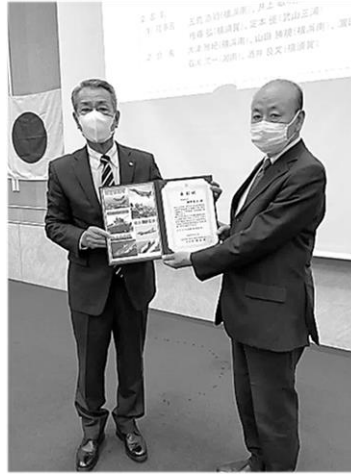
(特別会員 横須賀市議会議員)
⑥ 神奈川自衛隊音楽まつり2023お知らせ

令和5年3月5日(日)にコロナ禍
以前と同様に協賛広告を募集して実
施予定

以上

(松岡県会長の表彰を受ける

酒井副支部長)



(支部長表彰状の古城会員写真上)と
感謝状の田中特別会員)



(三浦じゅん子特別会員と総会参会者との記念撮影)

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻から早や四か
月が過ぎました。このところウクライナ
危機の報道はウクライナ東部の戦況が
中心です。侵攻当初に比べると長期戦
覚悟になったこともあると思われま
すが、ニュースバリニューもやや低調と言わざるを得
ません。

一方で、自衛隊の活動や訓練もウク
ライナ危機に対応して変化なしとは言
えませんが、つい先日は、インド太平洋方
面派遣訓練に横須賀からは護衛艦いず
も、同たかなみが出港していきまし
た。詳しくはこの支部だよりをご確認ください。
このような状況の中で参議院議員通

常選挙が公示され、七月十日には投票
票されます。

今回のウクライナ危機は、膨大な核
戦力を保有する大国が核戦力を持たな
い国を恫喝しているとも言え、わが国民
はこれをどのように捉え、どのような投
票行動に出るのでしょうか。

もちろん参議院議員選挙は政権選
択選挙ではありませんが、憲法改正等の重
要な問題に関する帰趨にも大きな影響
があると言われております。このため、
この選挙結果に関心を示す会員も多い
ことと想像されます。いずれにしてもこ
の支部だよりを会員の皆様が手にする
頃には結果が出ております。

次に、新型コロナウイルス感染症は、ゴ
ールデンウィークが終わっても新規感染
者数が大幅に増えるということもなく、
収束に向けての長いトンネルの先が見え
てきたとして、世の中全体において、感
染拡大防止のための各種の制限が徐々
に解除されております。このような状況
を踏まえて、当支部の本年度の第一回
理事役会、定期総会も対面での会議を
開催し、定期総会においては昼食会も実
施いたしました。今後とも感染拡大等の
特段の状況がなければ、コロナ禍以前の
状況に徐々に向かっていきたいと思いま
す。

最後に、今回の支部だよりでは、ゴ
ルフ同好会のコンペ結果や、竹舟会員に
よる連載中の浦賀道散歩、大山阿夫利
神社下社参拝記、在原副支部長の七十
歳を契機とし決心したこと、投稿もあ
り、読者会員が大いに参考になる記事
もあることを紹介して編集後記とい
します。

全日本葬祭業協同組合連合会加盟

ISO 9001:2008 認証取得 有限会社大野屋
一般社団法人 日本儀礼文化研究協会
JECIA
★★★★★認定

OHNOYA  SINCE 1903

大津 大野屋

0120-114-363 <http://www.gireikan.co.jp>

OH倶楽部事務局 有限大野屋 会(046)836-3644
会社 横須賀市大津町2-10-24

大津ホール・儀礼館・佐原ホール・長坂店

街にいい風 あなたにいい風

SHONAN

街にいい風
湘南しんきん 湘南しんきん 検索